

## 4 月授業再開に向けての保健・安全対策について

文科省より、4 月再開に向けて「換気・検温・近距離でのマスク」等のガイドラインが示された。校内でクラスターが発生しないよう、こまめな換気、近距離での会話を避ける。またはマスクをつける、マスクを正しくつける。体温計を持参しての検温・消毒等を配慮・指導していくことになった。

また、臨時休校の指針案として、①感染者や感染した生徒との濃厚接触者の出席停止、②学校の全部または 1 部の臨時休校を都道府県の衛生部と相談して判断する指針も示された。

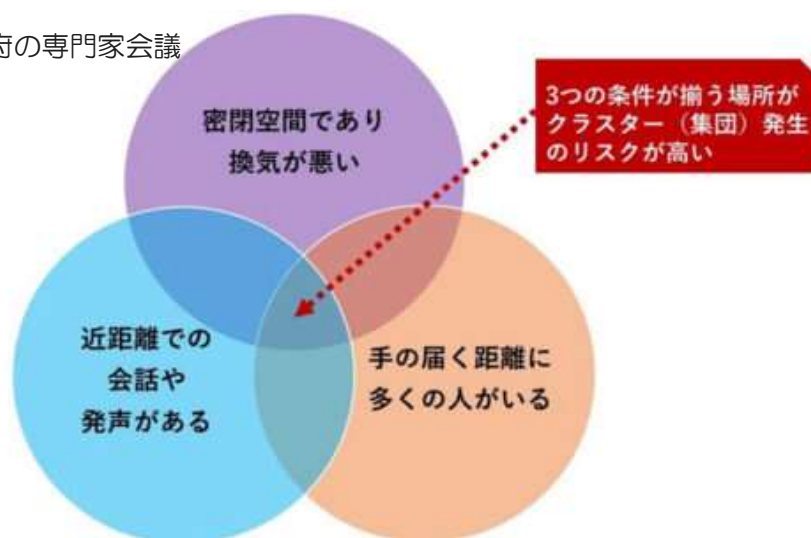
＜クラスター（集団）発生 の 3 条件＞政府の専門家会議

リスクを上げるには、

★2 方向の窓を同時に開ける。

★人の密度を下げる。1～2mあける。

★近くでの会話を避ける。



### 1 具体的な対策

- (1) 換気；教室の欄間を常時解放し、休み時間ごとに「換気タイム」として寒くても窓を開ける。  
2方向の窓を同時に開けて、空気を入れ替える。寒い日は暖房をつけて換気をする。
- (2) 手が届く距離での会話を避ける。大声でしゃべったり笑ったりする場合は、廊下やホールなどで離れてしゃべるか、マスクをつけてしゃべる。咳が出る場合は必ずマスクをつけ、管理する。
- ★ 正しいマスクのつけ方；①マスクは顔に密着させる。②外すときは表面を触らない。触った時はアルコール消毒。③飲食などで外す時は要注意（置く場所、新しいマスクを持参する等を要指導）
- (3) 座席；近距離での会話や発言を避けるため、座席を広く空ける。例、  
★窓や廊下側に寄せて広く空ける      ★隣同士や前後の席同士の近距離での会話は避ける
- (4) 手洗い（清潔な手ふきを持参する）不特定多数が使うトイレやドアノブ、つり革などに触った場合、目・鼻・口を手指で触らず、手洗い・アルコール消毒を習慣化する。
- (5) 生徒・教職員は体温計を常時持参して検温する。登校する前に自宅で検温・学校に着いた時に検温する。37.5℃以上の場合、学校に連絡する。
- (6) トイレやドアノブ・机などの消毒。アルコール消毒か、1 リットルの水にキャップ 1/2～1 杯の次亜塩素酸ナトリウムを入れた液体で拭く（雑巾）
- (7) スマホなどの消毒は、機種によって可能なものもあるので説明書を確認する。消毒が可能な場合、アルコール消毒を直接吹きかけてティッシュで拭きとる。ウェットティッシュタイプの消毒用エタノール入りのタイプを使って拭く。

(8) 抵抗力・免疫力を高める指導として、

- ① 規則正しい生活；平日・休日とも同じ時刻に起床、3度の食事は栄養のバランスを考えて摂取
- ② 適度な運動（散歩、室内でのラジオ体操・足踏み・ストレッチ・スクワットなど）
- ③ ストレスマネジメント（呼吸法、ヨガ、音楽鑑賞、入浴、日記や絵、森林セラピー、相談・雑談）

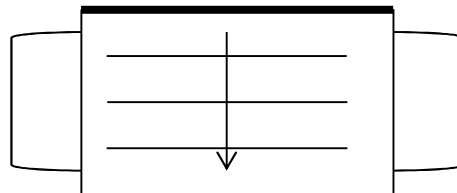
## 2

(1) 台湾で効果をあげている例、①校舎に入る前に検温 ②37.5℃以上は保護者に連絡して早退  
③手洗いなどを徹底指導 ④情報公開をして安心感を与え、市民の気持ちを一致団結。

(2) マスクは洗って使える。同じマスクを何日も使うにではなく、洗剤や薬用石鹸で優しく洗って乾かして再利用する。手作りも可能で、「手作りマスクの作り方」を検索

(3) マスクの正しいつけ方

- ① マスクはノーズフィッター部分が上にくるように顔にあててから耳にかける。その前に、ノーズフィッターの真ん中を折ってから顔にあてると密着しやすい。
- ② マスクは鼻から顎までカバーし、顔との間に隙間がないようにつける。  
マスクの表面には、ウイルスなどが付着している可能性が高いから、一度つけたら表面には触らない。
- ③ マスク表面のプリーツが下向きにしてつける。



(4) マスクの正しい外し方

- ① 鼻や口元を出す際に、マスクをずらして顎にかけるのはNG。
- ② 一度顎にかけてから戻してしまうと、顎部分に付着したウイルスなどの飛散物が、マスクの内側に移る可能性がある。
- ③ したがって、一度外したマスクを再度つけると、感染するリスクは上がる。
- ④ マスクを正しく外すには、ゴムの部分を持って外し、表面には触らない。
- ⑤ 外したマスクを再度使わない。外したら手洗い・消毒（洗って使えるから持ち帰ってほしい）

(5) 咳エチケット

- ① 咳が出てマスクをつけるときは、特に注意が必要。
- ② 一度外したマスクは、できるだけレジ袋などに入れて捨てる。  
ゴミ箱にそのまま捨てると、空気中にウイルスが浮遊する可能性があるため。
- ③ 外したら、石鹸で手を洗い、アルコール消毒。